

家畜衛生情報

東部地域畜産経営技術推進指導協議会

西部地域畜産経営技術推進指導協議会

672号

2025.5.10

富山県東部家畜保健衛生所

富山県西部家畜保健衛生所

DIVE! とやま 公務員獣医師の仕事内容を紹介.....	1
高病原性鳥インフルエンザ R6 年度シーズンの発生状況について.....	2
豚熱ワクチン接種農場から北海道へ豚の胎盤等の移動について.....	3
吸血昆虫対策強化について.....	3
「耕畜連携飼料自給率向上対策事業」補助金のご案内.....	4

「とやまの畜産暑熱対策支援事業」補助金のご案内.....	4
令和7年度市町村畜産担当者名簿.....	5
防疫情報.....	6
新規採用職員紹介.....	6
北陸三県和牛子牛市場開催される.....	6

DIVE! とやま 公務員獣医師の仕事内容を紹介



YouTube 配信の画像

富山県では職員が企画・立案・撮影・編集し、公式 YouTube として配信する「DIVE!とやま」を開設しています。このチャンネルは、職員自らが富山県の魅力を再発見・再認識したうえで、特に若い人をターゲットとして県庁や県政に親しみや関心をもっていただける動画を配信しています。

今回紹介する動画は、4月24日に配信された県庁職員の1日に密着し働く姿をお届けする「情熱県庁」で、当所の小林主任による家畜保健衛生所の業務内容の紹介や公務員獣医師の役割等について配信しています。

動画を視聴することで、家畜保健衛生所に勤務する獣医師の熱い想いが伝わり公務員獣医師を目指す学生が増えることを願います。

また、今後も様々な県政情報等が配信されますので、是非ともチャンネル登録をお願いします。



(西部家保指導課 本多次長)

高病原性鳥インフルエンザ R6 年度シーズンの発生状況について

R6 年度シーズンの養鶏場における高病原性インフルエンザ (HPAI) の国内発生状況は、令和 6 年 10 月 17 日に北海道において国内 1 例目の発生を確認して以降、これまでに 14 道県で 51 事例の発生があり、約 932 万羽が殺処分の対象となっています (5 月 1 日現在)。

この発生件数は過去最多の発生となった R4 年度シーズンに次ぐ R2 年度シーズンと同規模の大規模な流行となっています。連日報道でも取り上げられていたとおり、HPAI 発生 of トップシーズンである 1 月に、過去にない勢いで発生が急増しました。中でも千葉県 (15 事例)、愛知県 (13 事例)、岩手県 (5 事例) では養鶏場の密集地域において発生が連続し、1 月としては過去最多の 5 県 34 事例、648 万羽が殺処分となりました。

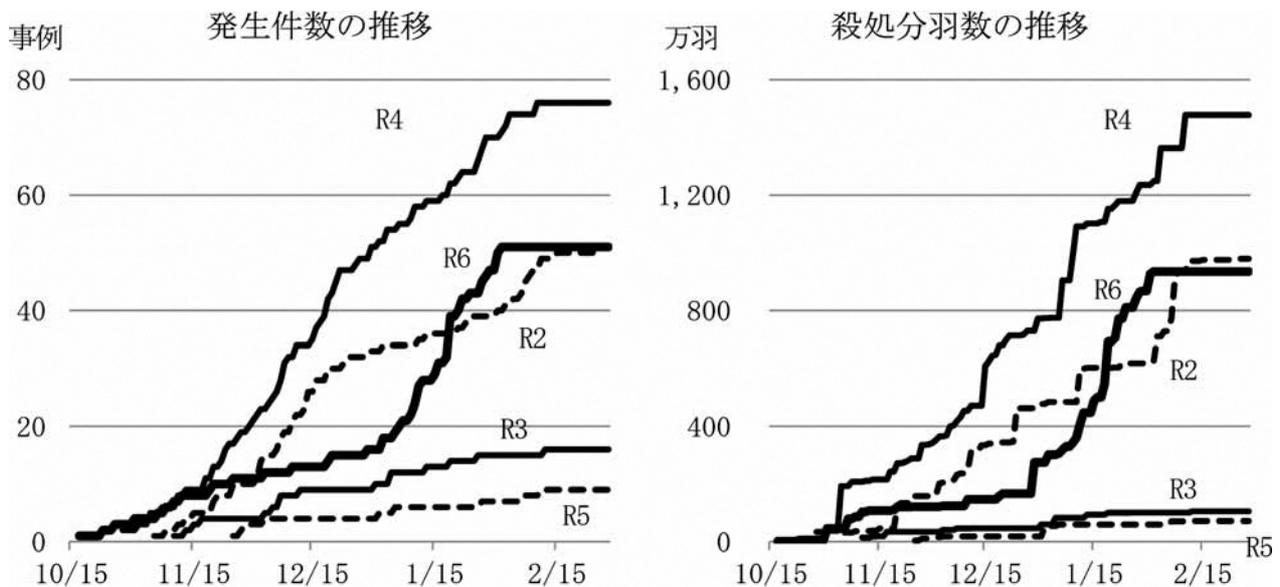


図 高病原性鳥インフルエンザの過去シーズンとの比較

農林水産省の疫学調査チームから、1月の密集地域における発生は、乾燥や強風の多い時期のきわめて短期間に発生しており、分離されたウイルス遺伝子型は密集地域の中で一致していたと報告がありました。

現在、令和 7 年 2 月 1 日の千葉県の養鶏場の発生が最終となっており、HPAI 発生リスクの最も高い時期は脱したと思われませんが、引き続き飼養衛生管理基準の遵守徹底をお願いいたします。

また、国内の野鳥では、令和 6 年 9 月 30 日に北海道で回収されたハヤブサから HPAI ウイルスが確認されて以降、18 道県 200 事例 (4 月 30 日時点) が確認されていますが、県内の野鳥からウイルスの検出は確認されていません。

R6 年度シーズンは、家きんと野鳥ともに最初の発生がこれまでで最も早い時期となり、野鳥からは令和 7 年 4 月以降も北海道などでウイルスが検出されており終息が見えない状況であり、HPAI の流行期の早期化と発生期間の長期化がみられます。

施設の点検や修繕などの飼養衛生管理基準の確認など、再びリスクが高まる時期に備えるとともに、R6 年度シーズンのウイルス侵入経路として疫学調査チームからウイルスを含んだ塵埃の侵入対策が提言されています。乾燥や強風下で感染野鳥の羽毛や糞便由来の塵埃を介し家きん舎へウイルスが侵入した可能性があります。続発が確認された密集地域の農場において、家きん舎の開口部へ液体消毒薬を染み込ませた不織布を設置していた農場が発生を免れた事例も報告されています。

家きん舎の換気を考慮しつつ、フィルター、消毒薬細霧装置、不織布の設置などシーズン中は飼養衛生管理基準より一段踏み込んだ塵埃侵入対策をお願いします。

現在、農林水産省では飼養衛生管理向上のため、鶏舎入気口フィルターや細霧装置の整備、養鶏場の分割管理の整備を支援しています。R7 年度シーズンに向けて衛生対策強化の一環として活用を検討してみたいでしょうか。

(西部家保防疫課 西村係長)

豚熱ワクチン接種農場から北海道へ豚の胎盤等の移動について

令和7年3月31日に千葉県旭市の飼養豚約5,480頭の農場で、4月4日に群馬県前橋市の飼養豚約6,800頭の農場で、国内97、98例目となる豚熱の発生が確認されました。また、4月11日に宮崎県で初めて野生いのししから豚熱ウイルスが確認されました。富山県内で令和6年度は69頭の野生いのししで豚熱陽性が確認されており、引き続き厳重に警戒する必要があります。

このような中、他県の一部の豚熱ワクチン接種農場から、豚の胎盤をワクチン接種区域外の地域（北海道）へ移動させていたケースが複数判明しました。「豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針」においては、豚熱ウイルスの拡散を防ぐため、生きた豚、農場で採取された精液や受精卵等、豚の死体、豚の排せつ物(胎盤を含む)、敷料、飼料および家畜飼養器具、を豚熱ワクチン接種農場からワクチン接種区域外の地域へ移動させることは原則禁止されています(QRコードリンク先の28ページ(5)、(6)に記載があります)。

養豚農家の皆様におかれましては、豚熱ウイルスの拡散を防ぐため、豚の胎盤等を決して北海道へ移動することのないようお願いいたします。質問等がございましたら家畜保健衛生所までお問い合わせください。

※特定家畜伝染病防疫指針

豚熱は、我が国の畜産業に大きな影響を及ぼす恐れのある疾病であり、家畜伝染病予防法の中で「特に総合的に発生の予防及びまん延の防止のための措置を講ずる必要があるもの」として、高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫などと共に「特定家畜伝染病」に指定されています。国は「特定家畜伝染病」に定められた各疾病について「特定家畜伝染病防疫指針」を作成・公表しています。豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針は農林水産省のHPに掲載されていますので、ワクチン接種区域外への規制対象物など詳細をご確認ください。



農林水産省 HP: 豚熱に関する特定家畜防疫指針

(西部家保防疫課 竹元係長)

吸血昆虫対策強化について

温かい日も多くなり、吸血昆虫(サシバエ、アブ、ダニ等)が羽化する季節になってきました。

昨年11月に国内で初めて発生が確認されたランピースキン病もこれらの吸血昆虫によりウイルスに感染します。これまでに国内では偽症牛を含め、22農場230頭の発生が確認されましたが、現在は終息しています。しかし、吸血昆虫の活動時期に合わせ再び発生するリスクが高まります。特に個体数や吸血頻度が多いサシバエ対策が重要です。吸血昆虫の活動が本格化する前の今の時期に対策しましょう。

<卵、幼虫及びさなぎ対策>

【堆肥】適切な頻度での切り返しや水分管理によって発酵熱を高めて殺虫

【牛舎】牛舎壁の隅、牛舎内の溝、ウォーターカップ下、通路のゴムマットの下やその隙間等の清掃

幼虫等が多く生息する傾向のあるバンクリーナーや牛舎の隅、子牛の牛床全体に昆虫成長制御剤(IGR剤)を散布

<成虫対策>

殺虫剤の散布が有効

- ・サシバエに噴霧する場合は飛行している位置より上を狙うと効果的
- ・同一系統の薬剤を連続使用するとサシバエが薬剤抵抗性を獲得する恐れがあるため、作用機序の異なる薬剤をローテーションで使用
- ・牛舎に成虫を近づけないためには、網目が6ミリメートルの薬剤含浸防虫ネット及びハエ取り紙を牛舎に設置
- ・サシバエの休息場所となる牛舎周辺の草刈り等の実施
- ・防虫ネットは地面から地上高2m以上の間に設置
- ・農場に出入りする方は車両でサシバエを運ばないように、車内に入り込んだサシバエもしっかりと殺虫

サシバエ対策
リーフレット
農林水産省 HP



(西部家保防疫課 増永係長)

「**耕畜連携飼料自給率向上対策事業**」補助金のご案内

耕畜連携の取組を推進し、稲発酵粗飼料（以下、稲WCS）の作付面積の拡大と飼料自給率の向上を図るため、稲WCSの生産・利用に必要な機械の導入に支援します。

- 1 事業実施主体
耕畜連携協議会（構成員：地域の畜産農家、耕種農家、市町村、農協等）
- 2 補助対象事業
稲WCSの生産・利用に必要な機械の導入経費の一部を助成
（例：ロールベアラー、ラッピングマシン、ベールカッター、飼料攪拌機、マニアスプレッダー等）
- 3 補助率、補助金の上限額、補助件数
補助率：1 / 3以内 補助金の上限額：350万円（予算額：2,000万円、市町村上乗せ任意）
- 4 事業採択要件
稲WCS生産・利用計画（5カ年）を作成し、次の（1）、（2）、（3）のいずれかに取組む。
（1）稲WCSの栽培面積の拡大（5ha以上）
（2）稲WCSの単収の向上（専用品種つきはやかへの切り替え5ha以上）
（3）（1）、（2）の併用による取組（栽培面積の拡大と単収の向上の面積が合計5ha以上）
- 5 事業実施計画書提出先：富山県農林水産部農業技術課 畜産振興係
- 6 第1回目事業募集〆切：令和7年5月28日（水）
事業実施を検討されている方は、管轄の市町村にご相談ください。
要望多数の場合は、補助金の減額等により対応いたします。
- 7 お問い合わせ先
富山県農業技術課畜産振興係 TEL 076-444-3289 （農業技術課 早苗主任）

「**とやまの畜産暑熱対策支援事業**」補助金のご案内

暑熱による畜産物生産量の低下を防ぎ、県産畜産物の安定供給と畜産経営体の収益性を確保するため、家畜への暑熱ストレスを軽減するための施設改修や機械設備の導入を支援します。

- 1 事業実施主体（支援の対象となる方）
県内で畜産を営む経営体（酪農、肉牛、養豚、養鶏）
- 2 補助対象事業
家畜の暑熱ストレス低減のための施設改修や機械導入支援
（1）畜舎の断熱性向上に必要な改修（遮熱塗料の塗布、断熱材の設置等）
（2）畜舎内温度を下げる機械設備の導入（細霧装置、換気扇等の新規導入、増設等）
- 3 補助率、補助金の上限額、補助件数
補助率：1 / 3以内 補助金の上限額：70万円 補助件数：4件程度（予算額：280万円）
- 4 事業実施計画書提出先：富山県農林水産部農業技術課 畜産振興係
- 5 受付期間：令和7年4月21日（月）から5月20日（火）まで
事業実施計画書の作成にあたっては、広域普及指導センターの担当者に必ずご相談ください。
要望多数の場合は、補助金の減額等により対応する場合があります。
- 6 お問い合わせ先
富山県農業技術課畜産振興係 TEL 076-444-3288、広域普及指導センター TEL 076-429-5043
（農業技術課 中村副係長）



令和7年度市町村畜産担当者名簿

東部家保管内

市町村名	担当課	課長	係長	担当者	備考
富山市	農業水産課	農林水産部参事 兼課長 余川 洋成	園芸畜産係長 宮内 俊貴	(同左)	TEL 076-443-2083 FAX 076-443-2185
	農林事務所農業振興課 (大沢野行政サービスセンター)	大杉 将人	副主幹・振興係長 西尾 達也	(同左)	TEL 076-468-2449 FAX 076-467-0684
魚津市	農林水産課	舘 和生	農産振興係長 浦崎 邦禎	主任 栗林 侑宏 事務職員 片山 和重	TEL 0765-23-1034 FAX 0765-23-1053
滑川市	農林課	北野 正	係長 早川 勇	主事 細田 菜々子	TEL 076-475-1443 FAX 076-476-0249
黒部市	農業水産課	産業振興部次長 農業水産課長 上島 晴香	課長補佐 西村 賢一	主事 佐々木 亮	TEL 0765-54-2603 FAX 0765-54-2607
	くろべ牧場まきばの風	場長 橋場 和博	—	主事 村澤 壮太	TEL 0765-52-2604 FAX 0765-52-3925
舟橋村	生活環境課	田中 勝	—	主任技師 政二 勇太	TEL 076-464-1121 FAX 076-464-1066
上市町	産業課	碓井 秀樹	課長代理 菱田 知幸	係長 村上 淳	TEL 076-472-1111 FAX 076-472-1115
立山町	農林課	佐伯 悦野	農政係長 大崎 喜孝	主事 高田 知拓	TEL 076-462-9973 FAX 076-463-1254
入善町	がんばる農政課	長島 努	係長 柳沢 拓也	主任 今井 翼	TEL 0765-72-3812 FAX 0765-74-2108
朝日町	農林水産課	平坂 昌美	主幹 坂口 寛	(同左)	TEL 0765-83-1100 FAX 0765-83-1109

西部家保管内

市町村名	担当課	課長	係長	担当者	備考
高岡市	農業水産課	割田 一郎	農産・畜産・水産係長 小林 新平	主事 荒屋 秀治	TEL 0766-20-1321 FAX 0766-20-1476
射水市	農林水産課	野崎 智延	課長補佐 清水 知昭	主任 高田 千奈美	TEL 0766-51-6677 FAX 0766-51-6692
氷見市	農林畜産課	中川 道郎	課長補佐 山下 弥奈江	主任 池田 正樹	TEL 0766-74-8086 FAX 0766-74-1447
砺波市	農業振興課	小西 啓介	主幹・農産係長 吉田 光英	主任 島田 宗弥	TEL 0763-33-1409 FAX 0763-33-1129
南砺市	農政課	中島 吉範	副主幹・農産振興係長 久保 明子	副主幹 幅田 真佐弘	TEL 0763-23-2016 FAX 0763-52-6348
小矢部市	農林課	高田 泰成	主査 中山 良彦	主事 金場 大史	TEL 0766-53-5849 FAX 0766-67-5009
	稲葉山牧野	場長 脊戸 栄	場長補佐 上田 政勝	主任 田中 崇樹	TEL 0766-67-2607 FAX 0766-67-5313

防 疫 情 報

令和6年(2024年)シーズンの野鳥の鳥インフルエンザ発生状況

事例	回収日	場所	種名
161~199 39事例	3月29日 ～ 4月21日	北海道：札幌市、えりも町、釧路市、 根室市、標津町、厚岸町、 苫小牧市 岩手県：宮古市、久慈市 鹿児島県：奄美市	ハシブトガラス、トビ、ハシボソガラス、ウミガラス、 ウミスズメ、エトロフウミスズメ、オオセグロカモメ、 ウミネコ、ウトウ、ケイマフリ、 ハヤブサ

県内の主な家畜伝染性疾病等の発生

病 名	畜種	発生日	戸数	頭羽数	備考
牛コロナウイルス病と 牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症	牛	3月9日	1	1	
牛パストツレラ症	牛	3月14日	1	1	
牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症	牛	3月21日、4月15日	2	2	
牛コロナウイルス病	牛	3月27日、4月2日	2	7	
牛マンヘミア症	牛	4月10日	1	1	
豚丹毒(届出伝染病)	豚	4月3日、4月15日、 4月22日、4月23日	1	4	と畜場発見
山羊の消化管内線虫症	山羊	4月2日	1	1	

県内における野性のしし豚熱 PCR 陽性事例(令和7年2月27日～4月30日)

	発見状態	発見又は捕獲日	発見又は捕獲場所	成長区分	性別
1	捕獲	3月31日	黒部市笠破地内	成獣	雄

新規採用職員紹介

《林 瑞稀(はやし みずき) 東部家畜保健衛生所 防疫課獣医師》

出身地 富山県(富山市)

出身校 岩手大学(獣医病理学研究室)

趣味 編み物、カフェ巡り、写真

<本人からのメッセージ>

大学の研究室では、コンパニオンバードの鳥結核の疫学と病理について学びました。これからも学び続ける姿勢を忘れず、努めていきたいと思っております。至らないところばかりですが、富山県に貢献できるよう尽力いたします。ご指導のほどよろしくお願いたします。



北陸三県和牛子牛市場開催される

4月24日、金沢市の北陸三県家畜市場で、令和7年度第1回の北陸三県和牛子牛市場が開催されました。今回は全体で去勢105頭、雌58頭の計163頭の取引が成立、富山県からの出品牛は去勢30頭、雌13頭の計43頭の取引が成立しました。全体の取引頭数は、前回比プラス29頭の22%増となりました。

平均価格は、去勢が578千円(2月市場576千円)、雌が487千円(同483千円)、全体では546千円(同541千円)でした。また、最高価格は去勢が810千円、雌が574千円でした。

次の開催は令和7年6月26日(木)になります。

(西部家保環境課 稲葉課長)

編集後記

4月13日から大阪・関西万博が開催されており、富山県も万博に出展を予定しています。6月27日～29日の3日間、EXPOメッセ「WASSE」を会場にして、富山県の自然・伝統工芸・寿司の魅力を国内外に発信します。県内観光客誘致に一翼を担うことを期待しています。

発行所 富山県東部家畜保健衛生所 https://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1687/
〒939-3536 富山市水橋金尾新4-6 電話(076)479-1106 F A X (076)479-1140

編集者 稲葉 真(富山県西部家畜保健衛生所)

○最新号は右のQRコードからいつでもご覧いただけます。

